

妊孕性温存療法の料金について

がん患者等の妊孕性温存療法、温存後生殖補助医療は健康保険の対象とならないため、自費での診療となります。
当院ではその料金を以下のとおり定めています。
詳しくは、生殖医療科にてご確認ください。

妊孕性温存療法での治療	料金（税込）
卵採取術*	45,100 円
卵培養術	40,700 円
顕微受精	55,000 円
精液検査	5,500 円
胚移植術*	40,700 円
胚融解・培養	55,000 円
アシステッドハッチング	27,500 円
胚及び卵子凍結・保存 （凍結＋1 年間の保存料込み）	55,000 円
精子凍結・保存 （凍結＋1 年間の保存料込み）	33,000 円
胚・卵子・精子凍結延長料 （1 年間）	11,000 円

* 治療を行うための薬剤や入院費用が別途かかります。
（例）未受精卵凍結を行う為の総額は、個人差はありますが約 35 万円かかります。
注 1：妊孕性温存療法はがん治療に伴うものです。がん治療の主治医からの紹介が必要になります。
注 2：自治体の助成金の対称となる場合があります。詳しくは治療時にご確認ください。

以下は健康保険との併用も可能です。

先進医療（自費）	料金（税込）
タイムラプス撮像法による受精卵・胚培養	25,300 円
子宮内細菌叢検査 1	49,500 円
子宮内膜受容能検査 1	95,700 円
膜構造を用いた生理学的精子選択術	22,000 円